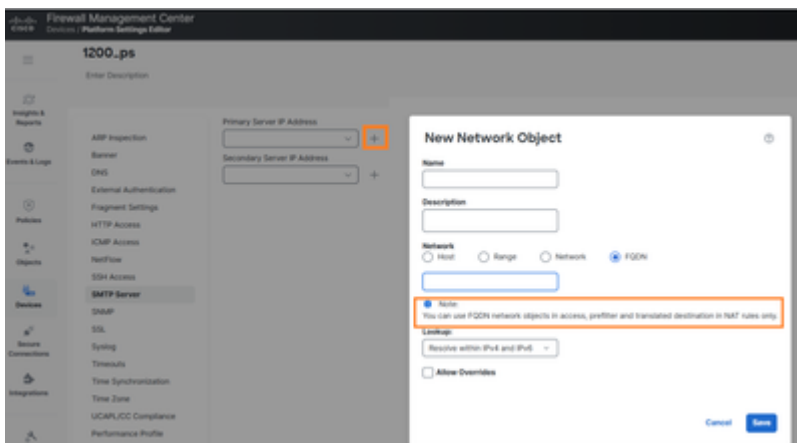


FMCでMicrosoft Exchange OnlineのFQDNを使用してプラットフォーム設定SMTPサーバを設定する

内容

お問い合わせ内容

ファイアウォール管理センター(FMC)のプラットフォーム設定では、SMTPサーバ設定フィールドにIPアドレスを入力することだけが許可されます。ただし、Microsoft Exchange Onlineを使用する場合は、IPアドレスの代わりに完全修飾ドメイン名(FQDN)を使用する必要があります。この制限により、Microsoft Exchange Onlineサービスに依存する環境では、システムがプラットフォーム設定のSMTPサーバフィールドのFQDNエントリを受け付けないため、適切なSMTPサーバ構成ができなくなります。



FQDN_not_supported_for_SNMP_Server.pngです。

環境

- ・ ファイアウォールマネジメントセンター(FMC)7.4他のソフトウェアバージョンも影響を受ける可能性があります。

解決策

- この機能は現在サポートされていません。
- 拡張Cisco Bug ID CSCwu25196が登録されました。

原因

Firepower Management Center(FMC)のプラットフォーム設定インターフェイスには、SMTPサーバの設定をIPアドレス形式だけに制限する制限があり、Microsoft Exchange Online SMTPサービスに必要なFQDNの入力が妨げられています。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。